

NEWS Release

報道関係者各位

JAみえなか 郷土資料館 ～一志町から届けるシルクロード～ 蚕の飼育展示が始まります

JAみえなか（代表理事組合長：前田孝幸）では、6月1日から津市一志町にある当JA郷土資料館で蚕の飼育展示を開始します。同資料館では、一志町でかつて盛んだった養蚕業の歴史を現代に伝えるため、「蚕糸研究会」と「一志町歴史語り部の会」が中心となり、毎年蚕の飼育展示を行っています。令和2年度からは新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から一般公開を中止していましたが、今年度は3年ぶりに一般公開を実施します。今年度は5月20日に掃立て（卵から羽化した蚕の移し替え作業）を行い、飼育を始めました。

蚕の飼育展示は全国的に見ても非常に珍しく、毎年たくさんの方が見学に訪れています。また、6月14日には「名松線ウォーク」の一環で、一般の方が飼育体験に訪れる予定です。

○蚕の飼育展示について

【展示期間】令和4年6月1日（水）～6月20日（月） ※土日も開館しています。

◆見ごろ◆

6月10日～15日（蚕の幼虫が大きくなり、桑の葉をムシャムシャ食べる姿が見られる）

6月20日前後（繭を作り始める姿が見られる）

※蚕の生育状況によって期間が前後する場合があります。

【見学・給桑時間】9:00～10:00、17:00～18:00
（時間内であれば自由にご見学いただけます）

【場所】JAみえなか 郷土資料館横体験室
（住所：津市一志町高野 1204-1）



↑ 昨年度の飼育展示の様子

○蚕の飼育情報

【品種】

小石丸…古来より飼育されている日本在来種。蚕の中で最も細く、しなやかな糸をはく。皇后陛下が飼育されることでも有名。

黄白…雌雄が違う色の繭を作る限性品種。オスは黄色の繭を、メスは白色の繭を作る。

春嶺×鍾月…春の気候に適した普通蚕品種（生糸生産用品種）。



【取材時のお願い】

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、感染症対策へのご理解ご協力の程よろしく申し上げます。

【お問い合わせ】※写真提供も致しますのでご相談ください。

JAみえなか 企画部 企画広報課（担当：藤原、池田）※お手数ですが取材の際には事前にご連絡ください。

TEL：0598-28-8822（事務所）、080-4177-6832（業務用携帯） FAX：0598-28-8034

Webサイト：<https://www.ja-mienaka.or.jp/> E-mail：kikaku4@mienaka.jamie.or.jp